

長尾福祉会報

平成23年10月1日

第24号



三木高吹奏楽部の皆様

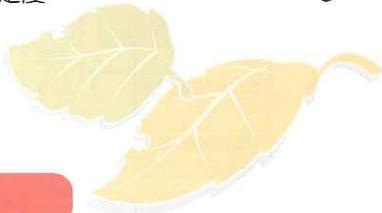
—長尾福祉会理念— 障害をもっていても もっていなくても 男も女も
「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる社会づくりをめざします。

もくじ

災害の備えについて	2
「復興支援」報告	2
財務報告	2

デイサービスセンターゆたか

利用者満足度 = 職員満足度	3
----------------	---



のぞみ園

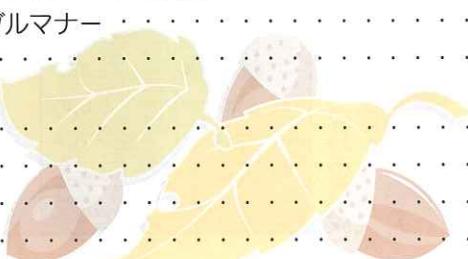
お花見	6
お話コンサート	6
いきいき福祉のつどい	6
施設交流 ソフトボール大会	6

ご支援ありがとうございました	8
福祉の店 のぞみ	8
ホームページ紹介	8
編集後記	8

ゆたか荘

ゆたか荘敬老会	4
たくさんの元気と笑顔に包まれて	4
感謝・感動・工夫	4
豊かな生活に向けて	4
第十一回ゆたか荘納涼夏祭り & 第二回家族会	5
介護職員医療研修	5

保護者の一言	7
スポーツレクリエーション大会	7
通所テーブルマナー	7
合同余暇	7



「災害の備えについて」

社会福祉法人 長尾福祉会 事務局長 森田 浩之

この度の東日本大震災で被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。被災地の一目も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、私たちの香川県も「世界で一番規則正しい地震」と言われる南海地震が100年～150年周期で発生していることはご承知の通りですが、最近では豪雨による土砂・水害も年々増加傾向にあり、自然災害の脅威に人間はどうやって向き合い対応していくべきか考えさせられます。

この度の震災を目の当たりにし、改めて自法人の災害における体制や備えの内容を再確認する契機となりました。

当法人では火災・土砂災害に関する避難訓練や防災教育を毎日行つてまいりましたが、地震に対する訓練は十分とは言えませんでした。震災後の4月に行われたゆたか荘の家族会では、地震時の対応について質問をされるご家族もおられ、心配の程が窺い知れました。

そこで、9月には専門家に依頼し、長尾福祉会の運営施設の耐震や備品などの地震対策の検証をしていただきました。この結果は10月中旬にまとめ、新しいマニュアル等の策定に生かしていく予定です。

今私たちがやらなければならないことは、東日本の方々へのできる限りの支援はもちろんのこと、今回の震災を教訓として、あらゆる災害時に被害を最小限に止められるよう、備えと訓練が重要であると思いました。またその内容については、ご利用者はじめご家族にもお知らせしていきたいと思います。

「復興支援」報告

県内社会福祉施設の有志で、6月17日から20日の間、岩手県宮古市の復興支援を行つてきました。当法人からは森田事務局長と新開主任相談員が参加しました。内容は宮古市社協VOC（ボランティアセンター）と共同で仮設住宅の入居者の遊びこもり予防を目的とした地域交流イベントを開催するというものでした。

6月17日の14時に2台のバスに今回の支援メンバー14名が分乗し、片道1300kmを陸路で宮古市を目指しました。翌朝の9時に宮古市に入り、仕込みまでの少しの間被災地を見てまわりましたが、被害の凄まじさに皆言葉を失つてしましました。

うどんは麺茹で機も持ち込み、茹でたてを提供することで、本場讃岐の味を届けることができました。公園には約800人の市民が集い、600食用意したうどんとさぬき夢豚は約2時間でなくなりました。宮古市の皆さんほんとにたくましく、人間の底力を見た気がしました。特に印象に残ったのは、最初に集まつてくれた多くの地元の子供たちの笑顔でした。この笑顔がある限り、復興の日は近いと確信すると同時に、今後は福祉サービスの充足が復興のスピードを左右すると感じました。「頑張ろう日本!!」



貸借対照表 (平成23年3月31日現在)

(単位千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	242,705	流動負債	31,055
現金	1,351	未払金	12,570
預金	140,187	預り金	1,485
未収金	95,819	引当金	17,000
立替金	306		
原材料	42		
仮払金	5,000		
固定資産	1,706,844	固定負債	126,575
基本財産	1,081,993	設備資金借入金	114,000
建物	944,382	退職給与引当金	12,075
土地	137,611	徴収不能引当金	500
その他固定資産	624,851	負債の部合計	157,630
構築物	11,024	基本金	466,000
機械器具備品等	43,432	国庫補助金等特別積立金	502,943
土地	5,000	その他積立金	635,837
有価証券・積立預金	552,797	次期繰越活動収支差額	187,139
その他	12,598	純資産の部合計	1,791,919
資産の部合計	1,949,549	負債・純資産の部合計	1,949,549

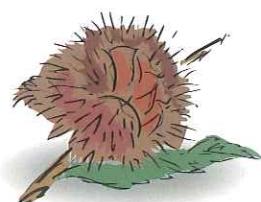
資金収支計算書 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位千円)

科目	金額	科目	金額
就労支援収入	6,149	就労支援支出	7,155
		就労支援収支差額①	▲ 1,006
介護保険等収入	399,976	人件費支出	399,857
支援費等収入	258,901	事務費支出	38,806
補助金等収入	14,001	事業費支出	95,671
寄付金収入	820	借入金利息	2,648
利子配当金収入	7,434		
雑収入	3,489	経常資金収支差額②	149,639
施設整備等補助金収入	11,850	固定資産取得費支出	29,322
		施設整備等収支差額③	▲ 17,472
有価証券売却収入	83,849	借入償還金支出	14,000
積立金取り崩し収入	23,580	積立金積立支出	83,240
		有価証券取得支出	105,205
		財務活動収支差額④	▲ 95,015
		当期資金収支差額①②③④	34,146
		前期末支払資金残高	194,462
		当期末支払資金残高	228,608

財務報告

社会福祉法人
長尾福祉会



デイサービスセンター ゆたか



『人それぞれ』とよく用いられる言葉ですがこちらのデイサービスを利用していらっしゃる利用者、お一人おひとりにしても生活リズムはもちろん考え方方も異なります。そのなかで利用者の方から「自分だけ悪い、無理は言えん」と集団での動きに合わせる言動が伺えることもあります。

一日のなかで場面ごとにおいても要望、希望があるのは当然のことと捉え、私たち職員としてもできる限り意向に沿う対応を考えていかなければいけません。

まだまだ課題もあり充分な対応ではありませんが、常に利用者の方からの声を聞きながら意思に沿う対応を取り組んでまいります。

利用される方が満足して頂けることが携わる職員の活力にも繋がるものと考えております。

今後ともデイサービスセンターゆたかへのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

**利用者満足度Ⅱ
職員満足度**

所長 矢野 勝久

ゆたか荘

ゆたか荘敬老会

介護主任 大黒 康子



の月19日、今年もゆたか荘敬老会が催されました。はじめに施設長より、長年社会、地域、家族のために尽くしていただいた皆様へのねぎらいの言葉と、「長寿おめでとう」をいいますのことはではじまりました。

オープニングスペースに掲示してある長寿番付表の横綱で、さぬき市で男性一番の長寿102歳の利用者様から順にご紹介させていただきました。名前を呼ばれた方はみなたも、語り合って晴れやか表情で拍手に応えておられました。施設長より白寿と米寿の利用者様には、職員が寄せ書きした色紙をお一人おひとりにお祝いの言葉と共に手渡しました。皆さま嬉しいに受け取られ、喜んでいただきました。

今回の催し物は、高松市民吹奏楽団の生演奏。全国大会前のお忙しい中、ゆたか荘利用者様のために来社して下さいました。クラリネットやトランペッタ・ベース等、身近で聴く機会の少ない楽器の臨場感あふれる演奏に、利用者様はもちろん私たち職員も聴き入ってしまいました。アンコールにも応えて下さいましたが、楽しい時間はあとと1つ間に過ぎてしましました。どの利用者様も「また聴きたい、知った曲で手を叩かなければいけない」「懐かしい曲、知っている曲ばかりでよかったです」となど、笑顔で話されていました。また、ご家族様の来社もあり、一緒に演奏を聴き、懐かしい曲にそっと涙をぬぐう場面も見られました。

この日の昼食は祝い膳であり、お配りすると皆さま「どうやんなあ」と思わず顔がほほえび、「おしゃれ」と如じ上がっていました。また、おやつの紅白葛餅には、「ご長寿おめでとう」の気持ちが込められていました。

これからも利用者様の笑顔の日々が続きますように、皆さまのご健康とご多幸を職員一同、心より願っております。

職員紹介

感謝・感動・工夫

介護職員
釤子 みなみ

ゆたか荘に勤め始め、早いことに4ヶ月がたとうとしています。

私はゆたか荘に勤めてから「介護」という仕事に対しても考え方があまり変わりました。「介護」といえば一般的に「3K」(汚い、きつい、危険等)が知られているかと思います。私も介護の現場に立つまでは介護とは上記のような「3K」なのだと思っていました。その為「私は介護の仕事ができるのだろうか」と不安でした。しかし、いざ仕事を始めるとそのような考えは一掃されました。

利用者様の笑顔。「ありがとうございます」という感謝の言葉。その利用者様を全力でサポートする職員。いたらない部分があれば皆で話し合い、工夫をしていく。この職場には「3K」ではなく別の「3K」が溢れています。

それは「感謝・感動・工夫」

これからも利用者様の方の笑顔や心温まる言葉を源に、全力で利用者様方の日々のお手伝いをさせていただきたいと思います。

よろしくお願いします。

豊かな生活に向け

介護職員
松内 邦恵

ほとんどの利用者様が在宅での生活を希望されています。その中で「ここに住むたら安心や。みんながやさしくしてくれるし、楽しいなあ」と介護で接する時間で利用者様が笑顔で話して下さいます。この言葉を聞くと折れそうな心はリセットされます。

私は、今年度、利用者に睡眠、食事、入浴等以外の余暇時間を有意義に過ごして頂けるようレクリエーション委員の一員として、活動内容の考案、計画、実施に携わっています。興味を持ってレクリエーションに参加された利用者様の生き生きとした表情からは私の方が元気をもらっています。「今日も一日楽しかった」と喜んでもらえた様なレクリエーションを提案していきたいと思います。

たくさんの元気と笑顔に包まれて

介護職員
上原 麻莉

私がゆたか荘に就職し3ヶ月が過ぎました。ボランティアとして参加していました頃、施設の雰囲気の良さに驚いたことを覚えてています。職員となりその後が少し分かった気がします。職員の向上心が高いこと、何より利用者様や家族との積み上げられた信頼関係が現れているんだと感じています。職員となり、責任も重く苦しく悔しい時もありますが、利用者様にたくさん元気と笑顔をもひって頑張っています。自分を見失わず毎日をみなさんと一緒に過ごしていきたいと思います。



第十一回ゆたか荘納涼夏祭りと第二回家族会

「絆」と絆ことのない人ととの結びつき、

主任生活相談員 新開 正義



今年もやつてきました。ゆたか荘一大イベント納涼夏祭りの日が！
今年は、今年度一回目となる家族会も兼ね御利用者と御家族が一緒に「観て聞いて」、楽しんで頂けるイベントと開催致しました。
そうしたといひ、103名の御家族の方々に来荘頂き、盛大に執り行つことができました。

また、そのイベントに華を添えて頂いたのが、全日本シンクール香川県大会で「金賞」に輝いた「三木高等学校吹奏楽部」の皆様！そして、高松祭りにおいて優れたパフォーマンスで会場を魅了した踊り連に贈られる「踊りアワード2011」で、グランプリに輝いた「さぬき舞人」の皆様！
本当に今回の納涼夏祭りの趣旨に沿つた「見て、して、聴いて、楽しめるイベント」にする事が出来ました。途中、ゆたか荘男性職員による美女？（正直気持ち悪い）に対する事が出来ました。途中、ゆたか荘男性職員による美女？（正直気持ち悪い）に対する事が出来ました。途中、ゆたか荘男性職員による美女？（正直気持ち悪い）に対する事が出来ました。途中、ゆたか荘男性職員による美女？（正直気持ち悪い）に対する事が出来ました。

介護職員研修
医務主任 大久保 明美
近年、一般に特別養護老人ホームにおける高齢化や重症化が進み、医療ケアを必要とする利用者様が増えています。老人福祉施設での看護職員配置基準では、特に夜間帯での医療体制が十分とは言えず、常時痰の吸引が必要な方や胃ろうからの経管栄養の方への対応が難しい現状でした。

このため、昨年より厚生労働省が、「特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員の連携・協働による医療ケアの在り方」について検討を重ね、医療行為とされていた痰吸引や胃ろうの方への対応を、14時間の研修を終了した介護職員ができるようになります。

ゆたか荘では、福岡や香川で研修を受けた一名の指導看護師が在籍しており、この7月迄に夜勤を行う24名の介護職員が医療研修を終了しています。ゆたか荘ご利用の皆様方が、これからも安全な医療体制と安心して暮らせる環境を提供していきたいと思います。



のぞみ園

お花見

生活支援員 大熊 寛子

四月五日、寮毎に園周辺でお花見をしました。当日、桜は三分咲き程度でしたが、天候に恵まれ、厨房特製の豪華弁当を皆おいしそうに食べていました。食事後は、桜の下で休憩したり、園周辺を散歩したりとそれぞれに過ごされていました。



いきいき福祉のつどい

生活支援員 高尾 愛

五月二十二日(日)、福祉の里で開催された、いきいき福祉のつどいに参加し、エイサー風ダンスを披露しました。本番前は緊張しました。本番前は緊張しましたが、本番ではみんなさんイキイキとした表情で堂々と踊り切り、心地良い達成感を味わうことができました。



施設交流ソフトボール大会

通所部 審長 青木 智弘

六月三日、毎年恒例のソフトボール大会に参加しました。結果は引き分け(勝敗決定じゃんけんに負け敗戦)となりましたが、参加利用者全員が攻撃、守備共に一生懸命プレー出来ていました。



利用者 田辺 光春
みんなといっしょに試合に出れて楽しかったし、ヒットを打つたりグラウンドを走ったのが良かったです。

お話コンサート

生活支援員 富田 かおり

高松市の生涯学習センターにて、毎日練習を重ねてきた歌と手話を披露しました。ステージでは皆、緊張しながらも発表をしました。一つのことをやり遂げた達成感を得て、それぞれの自信にもつながりました。



保護者の一言

縁と絆

保護者 福家 香澄

のぞみ園にお世話になつて九か月が過ぎ、体調も良く家族一同ほつとしています。

香川に嫁いで夫の家族の理解で母と弟を高松へ招いていたとき、みどり園へ入所となりました。困難な中その都度指導者に助けられ、今回のぞみ園へ弟をお願いする事になりました。弟は乳児の時髄膜炎脳症になり、後年は腸の病気で人工肛門にと大変でした。のぞみ園へ入所後も職員のお世話で乗り切つていただいて九十二才の母と兄共々安堵しています。今は自分の体調と相談しながらなるべく母と弟の会話は保つてあげたいと願っています。そして弟によつて継続してきたと思われる縁と絆に随分助けられていると改めて感じ、弟の入所に際してのお使いを感じいたします。

スポーツレクリエーション大会

生活支援員 阿部 純

六月十日にツインバル長尾にてスポーツレクリエーション大会を行いました。寮単位ではなく、利用者さん・職員・保護者さんの混合チームをつくって競技を行いました。各チームとも協力して競技や応援に参加しました。汗を流し楽しい半日を過ごせました。



通所テーブルマナー

生活支援員 森本 里栄

六月二十八日に、通所でサンマルクベーカリー・レストランに行きました。皆、落ちついて着席でき、コース料理も焼きたてパンも、とてもおいしく食べることができます。お店の方には、親切に対応していました。皆、大満足の外出となりました。



合同余暇

生活支援員 橋本 光佐子

全寮の利用者・職員間での交流を余暇を通して深めることを目的に合同余暇を行いました。今回は、八月二十二日にのぞみ園の中庭で夏の風物詩ともいえる流しそうめんをメインとし、ヨーヨー、スイカ・ジュースなど夏祭りのような雰囲気の中で楽しみました。



福祉の店のぞみでは、メロン・オレンジピール・ちくわ・ごぼうパンなど新商品も充実し、美味しいパンを皆様にお届けしています。水曜日を除く月～金曜日は、焼きたてパンがお店に並んでいます。いかがでしょうか。

山下由味



製品の製造・販売に関する
お問い合わせは、
【福祉の店 のぞみ】まで
さぬき市長尾名104-4
(0879) 52-1351

営業時間 10:00～18:00
定休日 日・祝祭日



(財)JKAの補助を受け福祉車両を整備しました。利用者の送迎など、地域福祉の向上に活用していきます。



最近、人は自然の前では無力だと痛感しますが、日頃の備えが大切だと思います。夏の疲れがでやすいこの季節お体ご自愛下さいませ。

高木

編集後記



平成二十二年度より、本格的にホームページを開設しました。園内・荘内の行事報告だけでなく、地域交流の様子などを写真と文章でお伝えしています。ぜひ一度見にきてください。ご意見・ご感想もお気軽にお聞かせください。

ホームページ紹介

ご支援ありがとうございました。